

貸切バスの安全確保へ第三者機関設置

JATAと全旅協、日本バス協会が共同で取り組み

JATAは8月30日、全国旅行業協会（全旅協）、日本バス協会と、旅行業者と貸切バス事業者の手数料などを含めた取引関係を適正化し、旅行会社が貸切バスを使用して行う旅行の安全を確保することを目的に、第三者機関である「貸切バスツアー適正取引推進委員会」を設置しました。

今年1月に発生した軽井沢スキーバス事故を受けて、軽井沢スキーバス事故対策検討委員会が策定した「安全・安心な貸切バ

スの運行を実現するための総合対策」では、「バス事業者・旅行業者は安全確保を最優先に据え、両業界等は協力・連携してルール遵守の環境整備を推進すること」などの基本的考え方が示されています。

「貸切バスツアー適正取引推進委員会」では、具体的な対応として、委員会のもとに通報窓口を設けて、運賃違反などの事例があった場合、それぞれの業界団体が連携して、その改善や指導などを行います。

JATA、全旅協、日本バス協会は、同委員会による対策などにより、旅行商品の安全確保を図ることを第一に、バスツアーの需要拡大に努め、地方創生、地域分散化の取り組みを進めていく方針です。

また、3協会は8月30日、「安全運行パートナーシップ宣言」を発表し、相互の協力体制の確立により法令などを順守することを宣言、公表しています。

貸切バスツアー適正取引推進委員会通報窓口は、次の通りです。

電話番号 03-3597-3031
メールアドレス bustaisaku@ata-net.or.jp

JATA情報セキュリティ対策セミナー開催 全従業員による個人情報保護意識の向上を

JATAは(株)ジャタとともに、9月2日、全日通霞が関ビルで「JATA情報セキュリティ対策セミナー」を開催しました。

同セミナーで、7月28日に観光庁から発表された「旅行業界情報流出事案検討会※中間とりまとめ」旅行業界情報セキュリティ向上のため早急に講ずべき対策を受け、企業における情報セキュリティ対策の比重が高まる中で、重要な経営課題の一つとしてセキュリティ対策を講じるため、旅行会社がどのような対応と施策に取り組むべきなのか、などについて観光庁や保険会社の担当者などによる講演が行われています。

観光庁観光産業課の齋藤敬一郎調査室長は、「旅行業界情報セキュリティ向上のため

め早急に講ずべき対策」をテーマに講演し、旅行会社による対応について、「情報セキュリティに『過性の対応を行うのではなく、継続的に資源を確保し、対策を強化すること』」「研修、訓練の実施など経営層を含めた全従業員による個人情報保護意識の向上」「情報流出事案発生時の対処手順と報告手順の整備」などが求められることを説明。さらに、中堅・小規模旅行者者については、「ウイルス対策ソフト、OSとソフトウェアを常に最新のものに更新するなど基本的な対策を行うこと」「社外の情報セキュリティ事案に関わる最新情報に留意し、情報セキュリティへの意識を高めること」「サイバー保険に付帯する緊急時サポートサービスを活用する

こと」などに取り組むよう呼びかけます。

「旅行業界における情報セキュリティの取り組みについて」をテーマに講演したJATAの越智良典事務局長は、観光庁の「旅行業界情報流出事案検討会」での中間とりまとめにもとづいて、JATAに「ITセキュリティ特別委員会」を設置して検討を行うほか、今年中をメドに旅行会社各社で情報セキュリティ担当者を任命することや各社における連絡体制を構築すること、今回のセミナーも含めてJATAとして情報発信を行うっていくこと、などを説明しました。

※中間取りまとめは次のURLからダウンロードできます。

http://www.mlit.go.jp/kankochotopics06_000080.html

JTBパブリッシング ★

るるぶの旅行通販サイト

国内&海外の
素敵なお土産を
揃えました!!

★
★
★

★
★
★

リニューアルオープンした「るるぶショッピング」。
国内・海外の定番&おすすめのお土産が気軽に買えます！
ご当地ならではのアイテムのヒミツや開発ストーリーなどもご紹介!!
見て、そして買って楽しめる通販サイトへぜひお越し下さい♪

るるぶショッピング

お買い物はこちら <http://shop.rurubu.com/>

★

★
★
★

① **ここが楽しい①**
日本中の
名産品が買える!

思い出のあの場所の特産品が取り寄せOK!

② **ここが楽しい②**
海外の人気
アイテムが買える!

旅行前にお土産を手配すれば観光の時間が増やせます

③ **ここが楽しい③**
スマートフォンでも
ショッピング!

お店で並ばなくても旅先でさっとスマホでお買い物♪

オーストラリア政府観光局と覚書を締結 2020年に向けて共同で活動展開

JATAとオーストラリア政府観光局（TA）は9月21日、東京霞が関の全日通霞が関ビルで「オーストラリア2020プロジェクト」に向けた覚書（MOU）に調印しました。

この覚書締結に基づいて、JATAとTAは、2020年までに渡航者70万人を目指し、販売促進や業界向けの取り組み、マーケティング・教育・デステイネーション開発などの活動を共同で展開していくこととなります。

覚書に調印したJATAの田川博己会長は、「今後の需要開発では、単なる旅行にとどまらず、交流や体験が求められることから、これまでの豪州向け商品では十分に伝えられなかった魅力をさらに深掘りし、



覚書に調印した田川JATA会長（左）とトニー・サウスTA会長

ブームではなく、これからの持続可能な拡大を目指したい」と語りました。

一方、TAのトニー・サウス会長は、「日本人旅行者向けの豪州商品を継続的に開発することが大きな課題であり、旅行者ニーズが変化する中で、豪州旅行の動機を持ってもらえるような体験や経験の商品化が求められている」と述べ、日本市場における需要開発の重要性を強調しています。

TAによると、オーストラリアを訪れる日本人旅行者数は、昨年9月から11カ月連続でプラス成長を維持しており、今年8月以降も堅調に推移しているとみられ、日豪間における航空路線での供給力拡大やTAと州政府観光局によるプロモーションが需要の伸びを支えています。

今年12月16日には、カンタス航空がメルボルンへの直行便就航を発表しており、今後日本からの旅行者数の増加が期待されています。

北海道支部

9月25～26日 南富良野町と十勝清水町へ「平成28年8月台風等大雨災害ボランティアツアー」。JATA関係者など120人が参加。
10月14日 旅行会社向け海外旅行セミナー交流会。

10月14～16日 「海外旅行フェア2016 inチカホ」。

東北支部

9月6日 第4回幹事会。
10月19日 第5回幹事会。

関東支部

9月13日 総務・国内旅行・インバウンド委員会合同セミナー。
9月23日 幹事会。
9月28日 LADY JATA委員会。
10月6日 インバウンド委員会。
10月13～14日 国内旅行委員会研修旅行（宮古島）。

中部支部

9月29日 第3回「三浦ゼミナール」対応講座。
10月19日 総務消費相談委員会。
10月20日 支部幹事会。

関西支部

9月11日 総務委員会。
9月15日 消費者相談委員会。
9月28日 幹事会。
10月28～29日 消費者相談委員会。
9月11日 環境保全活動（和歌山・友ヶ島）。
9月14日 「現場のための旅行契約の基礎知識講座」。

中四国支部

9月3～4日 第3回「えひめ空旅！2016」（松山市エミフルMASAKI）。航空会社・政府観光局など21団体が出展。約7500人が来場。

九州支部

9月21日 国内旅行委員会海外旅行委員会・福岡地区委員会の合同委員会。
9月29日 消費者相談委員会。
10月1日 第3回寺子屋JATA。
10月3日 教育研修委員会。
10月4～5日 消費者相談委員会（霧島）。
10月13日 「クルーズ販売セミナー in 飛鳥II」。

沖縄支部

10月15日 国際旅行委員会。
10月15日 海外旅行委員会。
10月15日 第1回「世界のみなさん、もっと！九州へ」インバウンド企画提案コンテストを実施。
10月15日 第3回「若者よ、もっと！海外へ」アウトバウンド企画提案コンテスト。
10月17日 消費者相談委員会。
10月20日 総務委員会。
9月20日 教育旅行委員会。
9月20日 幹事会。
10月5日 情報セキュリティ対策セミナー。
10月7日 インバウンド委員会。